



令和7年度 朝日小中学校 全体構想

【高山市小・中学校教育の方針】

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

【児童・生徒の願い】

- ・お互いの良さを認め合うことで自分を高めていける仲間になる
- ・考えを話したり聞いたりすることで、新しいことをたくさん知ったりできるようになりたい

【教員の願い】

- ・高い目標をもち、その達成に向けて、誰とでも協働し、自分の力を発揮する
- ・地域に愛着と誇りをもち、貢献方法を考える
- ・保小中が連携した教育活動をさらに充実させる

【地域の願い】

ふるさとに夢と誇りをもち、ふるさとに貢献する子を育て、地域に元気を生み出す学び舎

【教育目標】 自立（自分で）・共生（仲間とともに）

【9年間で育てる資質・能力】

～ふるさとの中で、自分で判断して行動し、人と関わり共に生き抜く力～

ふるさと

ふるさと学習

（中）あさたか探求

- ・人々と関わる
- ・世界・日本の平和
- ・キャリア教育
- 地域での職場体験
- ・ふるさとを知る
- ・Discover 高根

（小）あさたかの心

- ・受けつぐ
- ・未来を考える
- ・安全を守る
- ・産業を守る
- ・特色を知る
- ・季節を感じる

家庭・地域連携

合同総務(PTA)
朝高子どもしとねる会
支所まち協連絡会
育成を考える会 など

自立（自分で）

（中）思考し続ける「自立タイム」の創造

- ・教科の“学び方”の定着
- ・教科横断的に表現力の向上

（小）主体的に学びを深める子

- ・自分の力だけで挑戦
→ 解決方法を自分で選択
- ・自分の力に合わせた問題に挑戦
→ ひたむきに努力

学習

共生（仲間とともに）

（中）表現し続ける「共生タイム」の創造

- ・「わかる」「できる」「深まり」を実感できる楽しい学び
- ・全校学習で多様な思考、学び方の継承、異集団での人間形成

（小）ともに学びを深め合う子

- ・仲間の考えと関わらせながら発言
- ・考えを練り合い、よりよい考えを導く

【基軸】

義務教育学校開校への歩み（本格的にスタート） 朝日小中の誇りと絆をさらに深める

- ・基礎体力の向上 ・健康教室等の充実 <よく遊ぶ>
- ・少人数であることを強みにした授業・プレゼン力の向上 <よく学ぶ>

～生涯にわたってつながる縦の絆の構築（縦割り班）～

（中）自分を見つめ個を高め続ける活動

- ・「なりたい自分」未来像を描く
- ・個のギャップをステップに

（小）何事も最後まであきらめない子

- ・「なりたい自分」を具体的に描く
→ 振り返り、次の目標へ
- ・自分の願いや考えを語りきるための表現力の育成

生活

（中）仲間を見つめ集団と共に高まる活動

- ・生徒会自治力、全員での学校運営、意見を出し合える活動
- ・相互評価→自己指導能力の向上

（小）一人一人を大切にし絆を深める子

- ・お互いの違いを認め合い、一人一人に合った関わり
- ・全校の中で自分の役割を果たしきる

いじめ・不登校未然防止、全児童生徒の居場所づくり → ウェルビーイング

【小中全教職員の共通意識】

- ・児童生徒の実態把握により、まず「個」に確かな力、それを生かし「集団」の力を育てる目と心をもつ
- ・少人数であることを強みにした活動を児童生徒とともに考える
- ・2部会を柱とした協働 …

「学習・道徳・特別支援」→ 合同研究（授業力向上、学力向上）、児童生徒の交流活動、縦割り遊び など

「生活・教育相談・特活・保健安全」→ 自己肯定感の向上、生活習慣改善、つながりのある個別支援 など

【新たな時代を担う教職員の育成・働き方改革の推進】<全教職員時間外勤務:45時間未満>

- ・個々の適切な目標設定と実践 → 経営構想・キャリアステージ指標上での位置づけ、方向づけ、価値づけ
- ・見通しをもち、やる気と支え合いのある職員集団
- ・小から教科担任制の実施、複数担任制

【学校施設管理及び事案発生時の適切な対応（危機管理・服務規律）】

- ・実践的かつ実効的な安全教育および防災マニュアルの運用 → 利活用した研修、保小中地域家庭連携
- ・法的根拠の認識を高めるとともに、コンプライアンス意識の資質向上を目指した職員研修